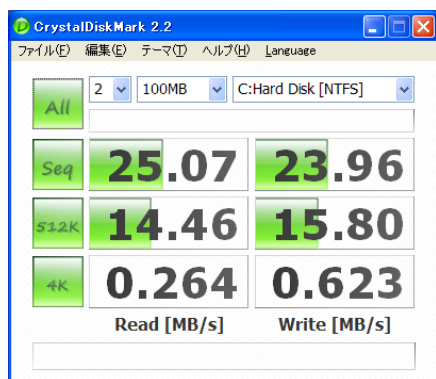
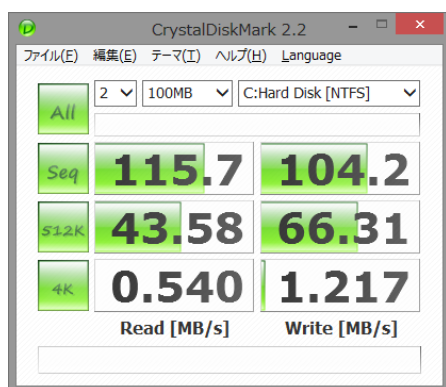


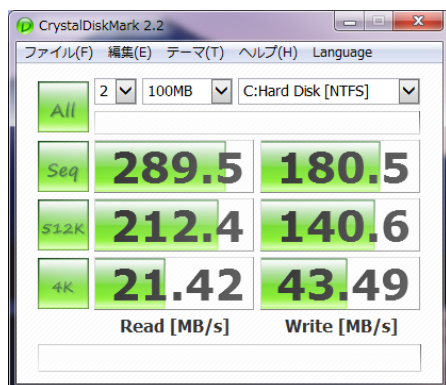
ハードディスクと SSD の速度比較資料



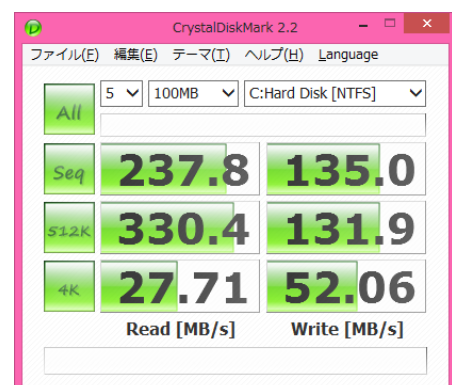
2005 年富士通製ノートのハードディスク



2013 年 HP 製デスクトップのハードディスク

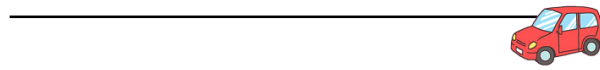


サムスン製 250GB の SSD

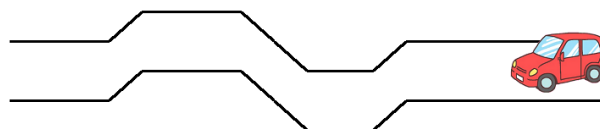


インテル製 240GB の SSD (店内事務用マシン)

データの読み込み・書き込みにかかる時間は、データの量だけでなく、データの数にも左右されます。1 ファイルで 1GB のデータと、1MB のファイル 1,000 個で 1GB のデータであれば、同じ 1GB でも移動やコピーにかかる時間に大きな差が出てきます。



Seq: 直線的な読み書きの速度



512K: 細かいファイルを読み書きした速度



4K: 極端に細かいファイルを読み書きした速度

[Seq]…大きなデータのコピーでは、上の絵で例えるとアクセルを踏めるようなもので、最高速度でのコピーが可能です。

[4K]…小さなデータを大量にコピーする場合は非常に効率が悪くなるので、上の絵のようなガザガザの道を徐行するようなものです。

ハードディスクには上のような特徴があるため、実際に数字を出すと 25MB/s に対して 0.2MB/s など、100 倍ほどの差が出ます。

SSD にはこういった制限が少なく、大量の細かいファイルのコピーなどの作業でハードディスクほど顕著な速度低下が起こりません。SSD は最高速度も速く、加えて曲がりくねった道でもスイスイ進む車のようなものです。

SSD は Windows の起動、ソフトの起動といった、小さなファイルを大量に読み込む動作で威力を発揮します。一度 SSD の機敏さに慣れると、もはやハードディスクには戻れません。